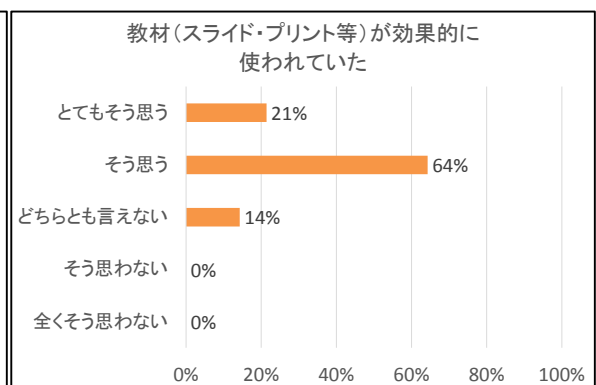
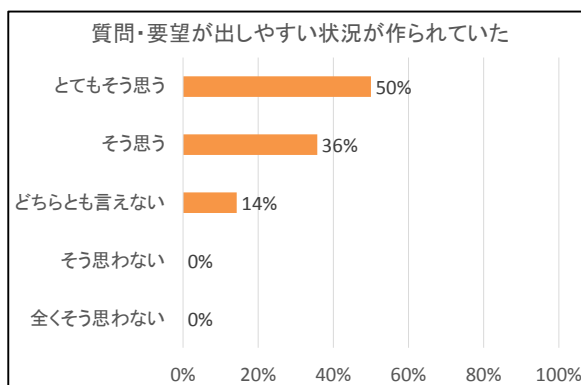
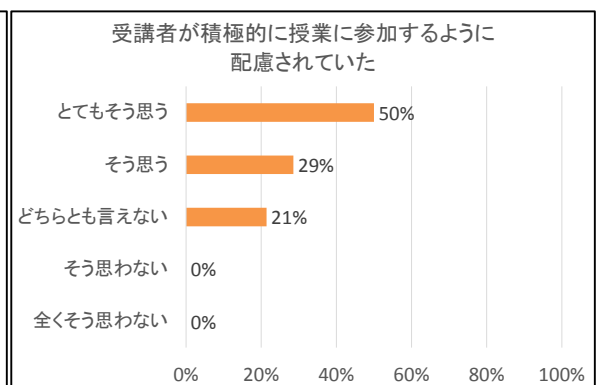
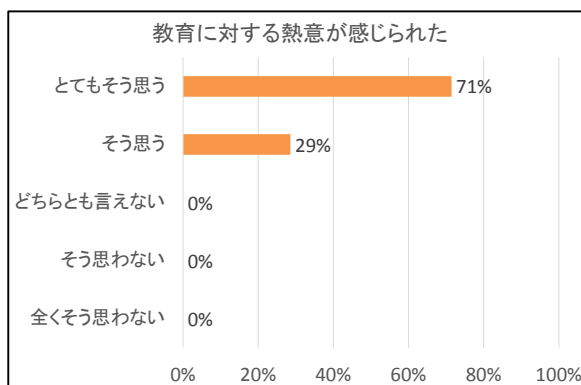
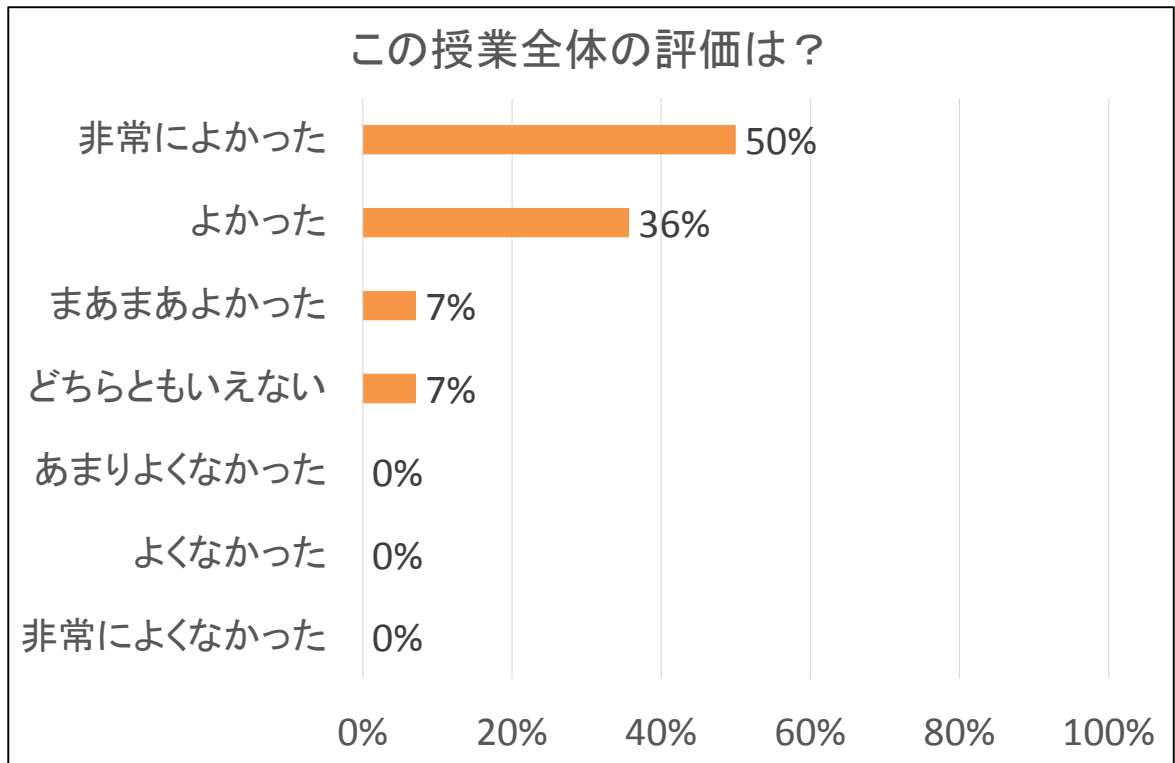
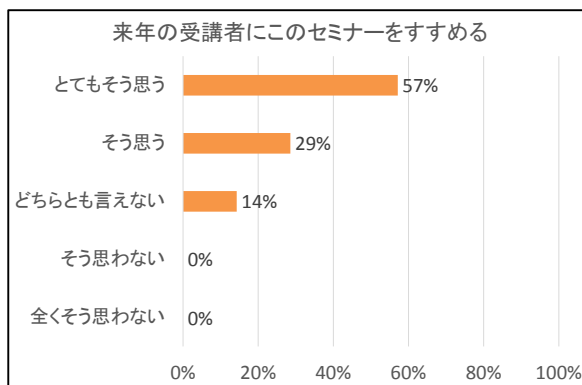
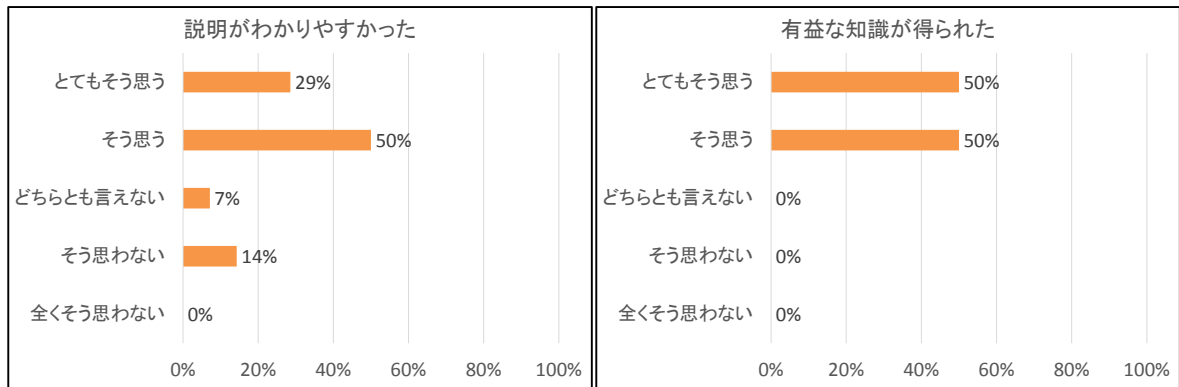


● 全体評価

1. アンケート



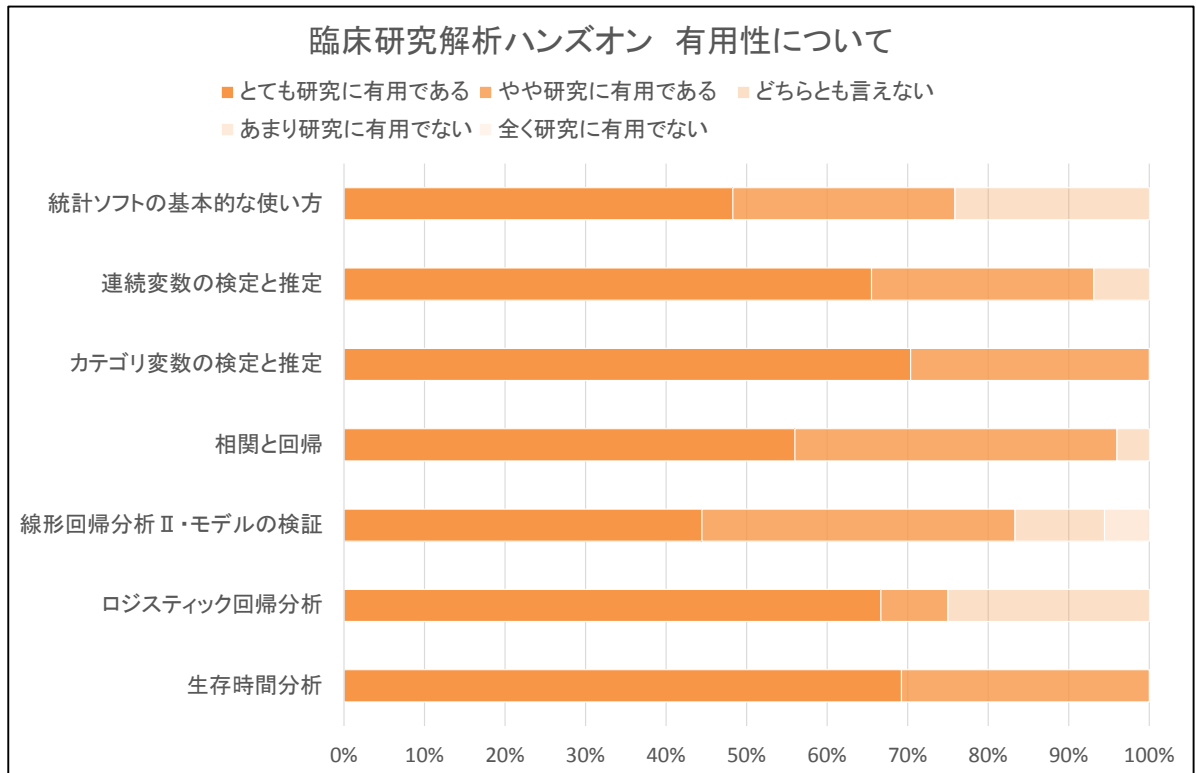
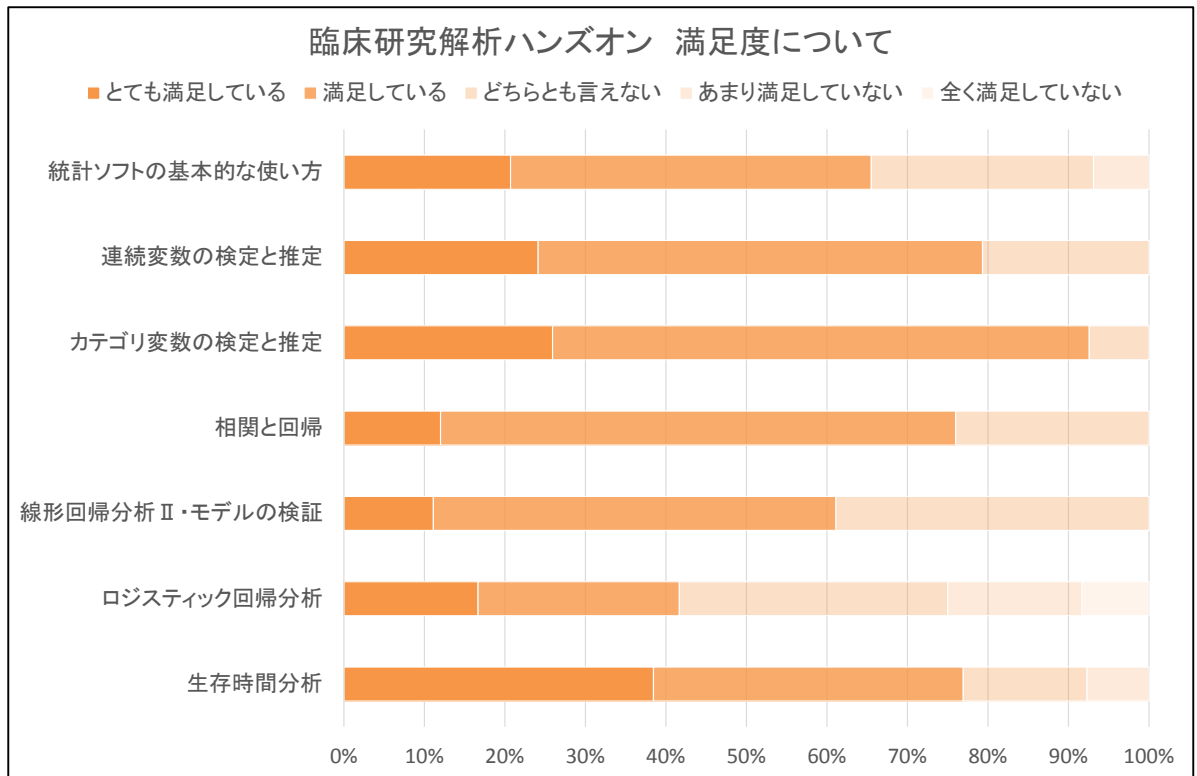


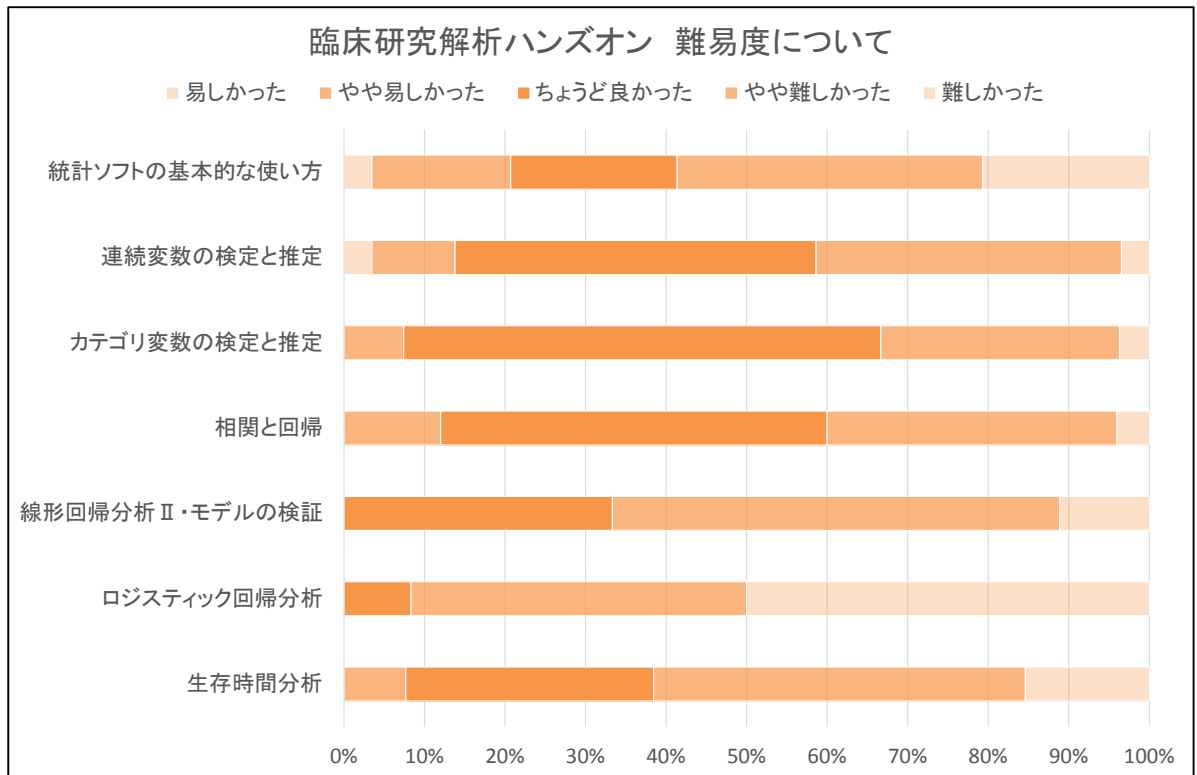
2. 受講者の声

- 後半、演習の速度についていけなくなりました。最後の1-2回（特別講義を除く）はもう少しじっくり学ばせていただくとありがたいです。
- 知識の習得には役に立ったと思いますが、STATAの使い方に関する説明（講義）に対しては大いに不満です。もっとレベルを下げたところから教えて頂きたかったのと、講義のスピードが非常に速く、ついて行けなかったです。周りの方々にすごく迷惑をかけているようで非常に申し訳なかったです。
- 実際にデータを使用した実習でとても理解しやすかったです。個人的に自身の研究の進捗と授業のペースが合っていたのも非常に助かりました。受講させて頂きありがとうございました。
- 体系的な学習ができ、大変勉強になりました。どうもありがとうございました。
- 途中一ヶ月間が空いたりして使い方を忘れてしまうことがあったので、解析セミナーと交互に同時進行するようなスケジュールだったらもっとよかったですと思います。
- 前半の講義がやや早く、ついていくのが大変でした。講義中は個人的な質問をしづらいため、もう少しゆっくり進めていただければ幸いです。

● 各回評価

1. アンケート





2. 第1回 統計ソフトの基本的な使い方、データの要約 感想

満足度が高い方

- 7. データの形と変数 (例プログラム参照) (イ)新しい変数の作り方(generate) 例: `gen b="Yes" ///a` という変数を作成し、Yes を代入する/// →`///b` という変数を作成し、Yes を代入する/// では?
- 実際にデータを使って慣れていくしかないですね。今後の講義も楽しみにしています。
 - ・ Mac と一部仕様が異なるところ(フォント)があり併記していただけると助かります。・ `log using` と始めに書いて `log close` の前にエラーが出ると、次 `do` ファイルを実行した時に `log file already opened` とエラーが出ていちいち `log` ファイルを手作業で閉じるのが面倒でしたが回避できますか? (`replace` オプションをつけてもだめでした)
- 初回でつまづく大変だと思い、実技中に思い切って質問して疑問を解決出来たので私自身は大変満足しています。その反面、実技が始まるまではほぼ理解できませんでした。講義では十分理解が得られないと見越して、早めに実技にされたかと思いますが、危うく何も理解できずに終わるところだったとヒヤヒヤしました。
- 基本的な質問ですが、数ある統計ソフトの中で、**STATA** を使用する理由を教えてくださいませんか。
- 分からないところも丁寧に教えていただけたのでよくわかりました。
- **STATA** 初心者向けのペース配分をお願いします。
- 数個の説明を聞き、いざ自分で動かそうとして同じ展開にならなかった時、追いつけなくてフォロー出来ず、次の内容の説明が始まり、前段の処理に気をとられていると、今度は説明の把握が曖昧になる。。という悪循環にはまる。使い始めの質問は頻発。尋ねたくても講義担当者はあなかなか捕まらず。ようやく最後にとっかかりのところまで追いつく。まずは使って馴染むことなんでしょうね。
- プログラムするうえで、言語形式としておすすめできる参考書籍があれば紹介していただきたい。
- 練習問題が多いほうがよいです
- ありがとうございます。
- 自分で良く使ってみないと使えこなせないと思いました。
- もっと簡単に使える統計ソフトがある中で、**STATA** を推奨する理由が知りたいです。他のソフトと比べてどのような点が優れているのでしょうか?

満足度が中等の方

- 当日は外病院から講義に直行し、パソコンを調べる余裕や印刷する時間がないので、もし可能でしたら前日までに資料を配布頂けると助かります
- お手数ですが、実習の手引書を詳しくしていただいて、その通りにやっていけば、出来る、ような講義でもいいかと思いました。実際に解析するときも見直すことも出来ますし。解説書を読んでも分からない点を各自に教えていただけたらと存じます。市販の解説書は難しく理解できなかったり、聞ける人がいないため中々自習でやっていくのが困難と思っています。1回目の講義の内容も一人でやっていれば、しんどかったと思います。分からな

い点をすぐに聞けて教えてもらえる環境が私にとっては理想的です。

- 私の知識が乏しすぎて理解できませんでした。
- エクセル統計などほかのソフトのの簡便さに慣れてしまっていると、stata はなかなかとっつきにくく、この先ついてういけるかどうか不安です。
- コマンドプログラム（これがスクリプトでしょうか？）入力形式は「PC 素人」の私には難しい。 STATA 以外のソフトもこんな感じですか？ 慣れれば使いやすいと将来的に思えるようになるのでしょうか？ GUI があるほうがわかりやすい？

満足度が低い方

- このソフトはとても玄人（データ処理や情報処理を専門とする方？）向きだと思います。私は JMP も持っていますが、そちらの方が断然使いやすいと思います。STATA が JMP より優り有用な理由を教えて欲しいです。そうでなければ JMP でもいいのではと思います。

3. 第2回 連続変数の検定と推定

満足度が高い方

- ありがとうございます。資料を充実していただけたら、あとで実際に使う時に参考に出来てよいと感じました。
- いつもお忙しい中、講義ありがとうございます。JMP よりよっぽど使いやすいです。有意義に実習でした。
- 講義時間が短く、やや駆け足な印象で、講義時間内にすべてを理解して実践するのは難しいかと思いました。予習、復習をしっかりして講義に臨むようにします。
- 講義自体は短めに、実際に使用しながら指導して下さる方が、机のまわりをまわっていく方式は受講者にとっては助かります。大変かと思いますが、今後も宜しく願います。
- その場では分かった気になりますが、時間がたつとわからなくなることもあり、同じ課題で2回続けて頂くか、復習させて頂く機会があってもよいかと思います。
- 課題以外の練習問題もあり、確認に役立ちました。ありがとうございます。
- 全体を見渡しても、かなり着いていけない人がいた。90分の枠なので難しいと思うが、何とか対策をとらないと今後、どんどん受講生が減っていくような気がした（今回でも前回より減っていた...）
- 前のスライドが一番後ろの席で見えにくくてつらかった。
- Wilcoxon 検定⇒signrank であったり、Mann-Whitney 検定⇒ranksum であったりと、名前とコマンドがいまいち対応していない場合の、覚えやすい覚え方はありますか。
- それぞれのコマンドで どんなデータが取得できるか 整理把握していると効率よく解析が進められることが理解出来た。説明を聞いて、わかったつもりでも、違う表現、要因が出てきたときに ???となりやすく、エラーの反応で拒否されて 試行錯誤・・・となりがちなので 場数を踏んで使えるようにしたいと思う。
- もう少し例題を出してほしい。
- 連続変数の正規性の検証法として QQ プロットがあるとのことですが、直線と点がどのくらい離れていると正規性を仮定できないと判断するのでしょうか。「このくらい離れていると正規性を仮定できない」という実例があると参考になります。
- 1 前回欠席でしたので、ファイルのオープンなどに戸惑いました。これは自己責任ですが。2 ノート PC のバッテリーがすぐに切れるので、電源プラグが近くにあるとありがたいです。

満足度が中等の方

- コマンドで入力して統計を行う方法を教えていただいています、メニューバーを用いての便利な方法もあれば教えていただきたい。
- 少し慣れたような気もしたが、スピードが速くてついていけなかった。最初に操作する「log」と「do file」との関係が全く分からないためついていけないのだと思う。

4. 第3回 カテゴリ変数の推定と検定

満足度が高い方

- ありがとうございます。
- コホートでの `cs`、症例対照での `cc` といったコマンドを使う場合は、0 と 1 どちらがケースになるか、どちらが調べたい曝露かを `tab` などを見て注意する必要がありますよね。
- どういう状況でどの検定を行えばいいか、まだわからない。実際の研究でなされる統計解析の一連を教えてください。
- `log` は今回の方が分かりやすかったです。
- 今回教えて頂いたアイコンからログファイルを開く方法や `dta` ファイルを開く方法が、普段のパソコンの使用で慣れている方法に近いため、わかりやすかったです。ファイルの場所を自分で指定して、、、という方法はハードルが高い。
- 入力されたデータに基づいてカイ二乗検定を行う場合、アウトカムと要因の変数の順序を逆にしてコマンドするとデータがすべて異なります。この入力ミスに自身で気付く方法はありませんか。
- 今日はなんとかついていくことができました。
- 説明を聞いて 説明の内容の動作をやって、よく似た例題で確かめる（練習）がソフトを使えるようになる手順としては良いと思います。また 入力してそれらしい表示がでると、ついできた気分になるけれど、実際の使い方が正しかったのか 確認するようにしたい。
- `recode bwt (min/2449=0) (2500/2999=1)(3000/max=2) gen(bwtcat)` について未満の扱い方がよくわかりませんでした。 `tabi 6 2 10 22 chi2 exact cci 6 2 10 22 chi2 exact csi 6 2 10 22 chi2 exact` はフィッシャーの正確率検定の際は同じと考えてよいですね？
- 少しペースが速かったので、もう少しゆっくりお願いできれば幸いです。触っているうちに、あるいは課題を解くうちに少しずつ慣れては来たようですが、遣わないと忘れることもあるので、また復習して頂ければ幸いです。
- いつもありがとうございます。ありがとうございます。
- コホートでの `cs`、症例対照での `cc` といったコマンドを使う場合は、0 と 1 どちらがケースになるか、どちらが調べたい曝露かを `tab` などを見て注意する必要がありますよね。
- どういう状況でどの検定を行えばいいか、まだわからない。実際の研究でなされる統計解析の一連を教えてください。
- `log` は今回の方が分かりやすかったです。
- 今回教えて頂いたアイコンからログファイルを開く方法や `dta` ファイルを開く方法が、普段のパソコンの使用で慣れている方法に近いため、わかりやすかったです。ファイルの場所を自分で指定して、、、という方法はハードルが高い。
- 入力されたデータに基づいてカイ二乗検定を行う場合、アウトカムと要因の変数の順序を逆にしてコマンドするとデータがすべて異なります。この入力ミスに自身で気付く方法はありませんか。
- 今日はなんとかついていくことができました。

- 説明を聞いて 説明の内容の動作をやって、よく似た例題で確かめる（練習）がソフトを使えるようになる手順としては良いと思います。 また 入力してそれらしい表示がでると、ついできた気分になるけれど、実際の使い方が正しかったのか 確認するようにしたい。
- `recode bwt (min/2449=0) (2500/2999=1)(3000/max=2) gen(bwtcat)`について未満の扱い方がよくわかりませんでした。 `tabi 6 2 ¥10 22 chi2 exact cci 6 2 10 22 chi2 exact csi 6 2 10 22 chi2 exact` はフィッシャーの正確率検定の際は同じと考えてよいですね？
- 少しペースが速かったので、もう少しゆっくりお願いできれば幸いです。 触っているうちに、あるいは課題を解くうちに少しずつ慣れては来たようですが、遣わないと忘れることもあるので、また復習して頂ければ幸いです。
- いつもありがとうございます。

満足度が中等の方

- 問6、問7の式の作成を試みましたが、間違っているためかエラーで答えが出ませんでした。いったん提出させていただきます。

5. 第4回 相関と回帰

満足度が高い方

- すみません所用のため大学に行くことができず、締め切り日までに計算できておりません。いつもありがとうございます。
- 前回の課題の回答のファイルを頂けるとおっしゃっていたのですが、どちらにアクセスすれば頂けるのでしょうか（今までのものもふくめ）。
- 今回のクイズでは、数値を回答する際に（小数点2けた）とか記載がありませんでした、相関係数や β 係数は何桁まで記載するのが一般的なのでしょうか？
解析をする際に、四分位にわけるか、連続変数のままにするのかなどの考え方について知りたいです。
一度作った変数を消すやり方を教えてください
- 課題より先に事後クイズを解き始めて???データ同士の関わりと問いの内容を把握できてなくて間違いそうになりました。気をつけようと思います。
- いつもありがとうございます。
- 略語の由来となった単語も言っていただけると、理解しやすいと思います。例えば`_cons`や、`pre0`の略など。ソフトを操作すること自体は難しくないことが分かりました。ちゃんと原理を理解できるよう少しずつ勉強を続けたいと思います。ありがとうございました。

満足度が中等の方

- 線形回帰分析のコマンドのところ、「モデル全体のF値とそれに対応するP値」という箇所が何を指すのかわからない。勉強不足ですみません。
- ありがとうございました。
- ダミー変数のところが早すぎてついていけなかったです。

6. 第5回 線形回帰分析Ⅱ・モデルの検証

満足度が高い方

- ありがとうございました。
- 内容がやや難しく感じました。復習をして理解を深めたいと思います。
- `predict r1 if age~=., residual` と `predict r2, residual` は結果は同じと考えていいのでしょうか。

`gen y2=y1*0.5671099+group*2.436274-sex*0.0851725+age*0.00009-7.907518` とした場合、`predict y2hat if y2~=., xb` とひかすしたとき `y2hat=y22` と考えていいのでしょうか。

- `y2` の欠測値がある場合に、欠損値を除いて計算していますが、欠損値のあるデータを除いて計算するといかがなものでしょうか。
- 影響力解析における leverage の概念をイメージするのがやや難しかったです。
- 残差の平均値が $-7.45e-09$ とでて、解釈が分かりませんでした。ご教示頂ければ幸いです。
- 単発の理解は得やすいが少し変わると解りづらい。今回の事後クイズ、従属変数が欠測値となるとそのままの表記と除くをつけたものとコマンドの操作の結果は同じだったように見えたが、実際データの数が多きなどは 安全策として この条件をつけておくのが良策ですか？
- 事後クイズの `y2` が欠損値でないものだけという if 文での設定がよくわかりませんでした。講義で説明されてましたでしょうか？

満足度が中等の方

- 実際に操作してみると、思うように動かない場面が多く苦戦しています。
- ハンズオンの講義内容と解析セミナーで教えていただいた知識とがまだ関連して考えられていないと思います。講義の復習と自己学習を進めたいと思います。できるだけ欠席せずに受講したいと思います。

7. 第6回 ロジスティック回帰分析

満足度が高い方

- ダミー変数を作成するとき、最初に（新変数）=. (dot)とするより、（新変数）=0 としたほうが後が面倒でないように思えました。
- 最後の問題は以下でよろしいのでしょうか？

```
gen DM=1
replace DM=0 if prim_cs!=1
gen Othe=1
replace Othe=1
replace Othe=0 if prim_cs==1 | prim_cs==3 | prim_cs==4
logistic death DM Othe age sex
```

満足度が中等の方

- 課題の設定について：各テーマで実際にデータを解析していく過程に沿って、各問いの下に小問を作り 誘導していただければ 自分で応用していく際に 例題として活用できて、同様の操作行程によって活用しやすいと思う。
- ……に比べてとなると2者の解析データ同士でさらに比較するとしたら、リスク比タイプ、オッズ比タイプいずれで表示するか？死亡率？あるいは 問5だと何の平均値を出したらいいのか？？澄みません・・・理解力不足が災いしております。
各用語、表現について正確に理解できるようにしたいと思います。
- 今回の課題は時間をかけて取り組みたいと思います。アンケート期限が迫ってまいりましたので、アンケートだけ先に提出したいと思います。

満足度が低い方

- 自身の勉強が足りないことの裏返しですが、課題が応用的で非常に難しかったです。
- 年齢と性別で調整する方法がよくわかりませんでした。

8. 第7回 生存時間分析

満足度が高い方

- いつもありがとうございます。
- `estat phtest detail` は `stphplot by (com_dm) adjust(sex old)` のあとでは実行できないのですね。 `stcox old sex com_dm` を行ったあとに `estat phtest detail` をおこなうと結果が出るということでしょうか？
old は 65 歳以上を 1 それ以外を 0 とした変数としました。
- 比例ハザード性を満たすかどうかの検証については、主観的な要素が多く入るような感じました。実際の論文で妥当性をチェックされることは少ないかと思うのですが、実際にはどのように活用しておられるか、教えてください。
(ある項目を、当初は多変量に含めることにしていたが、統計的には妥当でないので含めませんでした、とすると、解析する人の恣意的な要素が入るようにも思うのですが、..)
- いまさらですが、ハザード比の結果を見るときに、何の何に対しての結果であるか、を確認する方法を知りたいです
- 第4~6回が非常に難しかったので、是非補講をお願いします

満足度が中等の方

- コマンドがうまく作動しませんでした。時間切れのため、いったん提出いたします。

9. 第8回 特別セミナー (1)

満足度が高い方

- お忙しい中、特別講義を開催いただきどうもありがとうございました。実際の臨床研究の思考過程を踏まえた内容で、大変実用性があり有意義でした。しかしながら一方、私自身、今までの講義内容が記憶から抜けてしまっていることに気付かされ、愕然としています。やはり一度自分自身で臨床研究・解析を経験しなければ、記憶が定着しないように感じました。
- いつもありがとうございます。
- いつも貴重な講義ありがとうございます。MCR 卒業後も継続的に、このような会に参加させていただくことは可能でしょうか？
- 早めに1月の講義予定を教えていただけると助かります
- JMP が医学研究科で契約されるようです。STATA も折角購入したので、この講義が終了後も講義や研究の follow などいただける体制があれば、みなさん大変助かると思います。

10. 第9回 特別セミナー (2)

満足度が高い方

- 1年間ありがとうございました。また来年も出来たら受けたいと思っています。よろしくお願いします。
- いつもありがとうございます。Stataの使い方の幅が広がったと感じております。

満足度が中等の方

- 今回最終回の講義となりました。どうもありがとうございました。操作が難しく、授業内容についていけない面もありました。また、再度受講させていただけるなら、改めて復習をしたいと思います。